

平成29年度 第1回たつの市まち未来創生戦略推進委員会会議録

報告事項	
(1) たつの市まち未来創生戦略期間の中間年における検証と見直しについて	
(2) たつの市の人口の近年の推移について	
委員	明石市は、人口が増えているようだが、周りの都市との比較はどうか？
事務局	明石市は近隣と比較しても周辺全ての市町から転入超過となっている。
委員	明石市長は、子育て施策に力点をおいてPRしていると言っておられた。
委員	年齢別人口で、20代後半と60代前半の人口が大きく減少しているが、理由を分析しているか。
事務局	60代は、団塊の世代の年齢区分の移動、20代前半は大学進学後の就職などによる移動が多いことが影響していると考えています。
委員長	定年後、普通は田舎に帰ってくると考えるが、なぜ、大きく減少するのか分からない。20代後半についても、もう少し分析した方がいいと思う。
委員	御津地区が100人近い減少となっているが、御津地区の住民としてそう感じていないのだが、原因の分析を行っているのか？
事務局	単純な人数だけをみると100人を超えて多く見えますが、地区全体の人数が多いので割合で見ると特別多いものではないと考えます。御津に限った減少の傾向を分析はできていないが、全市の傾向が同様に表れているのだと考えます。
委員	市街化区域と調整区域の人口の推移なども調べてはどうか。
事務局	確かに調整区域は空き家も増えていて人口減少が大きいと考えます。調査してみたいと考えます。
協議事項	
(1) たつの市まち未来創生戦略の検証及び評価について	
委員	達成率の数値が分かりにくいので、具体的な説明をして欲しい。
事務局	戦略には最終年度の目標値しかないので、初期値と目標値を5等分し、28年度末時点の目標値を推定した上で毎年度の伸び数等から算出したものである。
委員	数値は一般市民が見て分かり易いものがあると思う。
委員	先日、新聞に近畿で赤穂が、田舎暮らしで一番と載っていた。赤穂の知り合いに聞いたが、赤穂はJR赤穂線が増便していることと、もう一つは若い世代が家を建てると補助金があるそうだが、たつの市も同じような制度があるので、やはり赤穂線が増便の影響が大きいのではないかと考えていた。 また、津山が住み心地がよいと言われている。町中の商店街は活気がないが、郊外は一戸建てが多く広がっており、その施設は立派なものが建っている。
事務局	赤穂市が一番という報道がありましたが、施策として赤穂市と本市に大きな差があるわけではないと考えている。ただし、赤穂の駅前には、広い道路やお店などが立ち並び都市的空間を感じることができるが本市にはない。 津山の旧市街地の商店街は活気がないが、高速インター近くはイオンモール

	<p>を中心に商業施設を集積していて、近隣の市町からの集客を行っている。</p> <p>本市においても、駅前整備を行いたいのが JR に持ちかけても網干駅より西は、力を入れてもらえない。市がどのようなまちづくりをしていかなければならないのか課題となっているので、御意見をいただければと考えている。</p>
委員	<p>高校生のアンケート結果から、高校生が愛着を持っていないことに課題があるのではないか。</p> <p>ハローワークとしても新規高卒者の就職には協力しているが、市内企業のアピールをハローワークとして、実施していかなければならないと感じている。</p>
委員	<p>高校 3 年生という今後の進学や就職を考える生徒で、アンケートを取れば学区再編の影響もあり、市外から通学している生徒も多くいるので、愛着という面では対象が違うのかもしれない。</p> <p>進学や就職を考えている生徒を対象にアンケートを取れば、このまま数値が変わらないと思いますが、義務教育の児童・生徒には、地元の素晴らしいところを知ってもらい愛着に結び付くような教育を行っているので、対象を考えることも検討してください。</p>
事務局	<p>愛着ということ考えると小・中学校生には、ふるさと教育に力を入れているので、おっしゃるとおりかもしれませんが、最初の目標設定時に高校 3 年生を対象としているので、初期値がとりにくく変えにくい。義務教育の児童・生徒を対象に意見を聞くようなことは検討していきたい。</p> <p>市内企業の PR は、企業が知られていないとの声が多くあるので、「たつの企業ガイド」という冊子を作成して、配布するという事業も行っていますが、十分に浸透していないので、今後、広く PR することを考えていきたい。</p>
委員	<p>姫新線が乗車 300 万人を達成して盛り上がっているが、列車に自転車を載せて移動することを検討してみてもどうか。</p> <p>また、コミバスと乗り合いタクシーが、順調に進んでいるかを伺いたい。</p>
事務局	<p>姫新線に自転車を載せるのは、比較的乗車率も高い状況であり、今の運行車両数では難しいのではないかと思います。</p> <p>公共交通会議において意向調査を踏まえて、毎年見直しを行っており、コミバス・乗り合いタクシーについても乗客数を含めて順調に進んでいる。</p>
	<p>コミバスは、平成 29 年 1 月から便数を増やしたこともあり、乗車数は毎月増えています。乗り合いタクシーも、運行当初は 1 日平均 100 人位の乗車数でしたが、170 人位に増えています。</p>
委員	<p>最近の新聞で、たつの市の定住支援が人口減少の歯止めになっていると載っていたが、いかに記事にしてもらって PR・アピールするかが大切である。</p> <p>子育て支援は、ある市が力を入れて PR していたが、子育てするときだけ住んでその後は別のところに定住するというのを聞いたことがある。やはり、定住してもらうことが、最大の目的である。</p> <p>もっと行政のビジョンをはっきりさせないと、前に進まないと思う。</p>
事務局	<p>市の施策をもっとアピールしていくことは重要だと考えています。</p>

	<p>JRについても、いろいろな機会を通じて、近隣の市町などと協力して、要望などを行っていますので、今後も引き続き行っていきたいと思います。</p>
委員	<p>いろいろと取組んだ中で中間年として KPI50%以下のものを D として、見直しを図りたいということですが、基本的な考え方として、分析をしてきた中で、判断が正しいかどうか意見を聞きたいということでのよいのか。</p> <p>提言などの意見が多く出ていますがいかがですか。</p>
事務局	<p>本議題は、分析や判断が間違っているようであれば、意見をいただきたいとの趣旨です。</p>
<p>(2) 目標達成に向けたたつの市まち未来創生戦略の見直しについて</p>	
委員	<p>他の自治体の空き家バンクの話聞いたことがあるが、家財道具より仏壇をどうするかが問題と聞いた。先行事例を参考に見てはどうか。</p> <p>昨年、オータムフェスティバルを歩いたが、おそらく西播磨で一番賑わいのあるイベントだと思います。大阪や神戸など遠くからも来ていて、もっと自信を持ってほしいと思います。印象に残ったのが、小学生が自分たちのまちの歴史をクイズ形式で説明していたことと古民家を活用したお店をアメリカの方がやっていて非常に流行っていたことです。お店を開いていた大阪から、場所を探して空き家を見て一目ぼれされて移住を決意されたと聞いた。30代の代表として聞いてみたが、町並みや人情がいいと言っておられた。近くには、関東から移住しお店をしている人もいて、たくさん魅力を感じて来られる人がいる。</p> <p>ふるさとのシビックプライドを醸成するために小中学生からたつのの良さを学ばしていることなど、新聞社の立場から見てもいいところがたくさんある。ぜひ発信をしていただきたい。</p> <p>赤穂市は、住みよい田舎として応募しているようだが、応募してアピールしていかないと、新聞も記事を書くことができない。</p>
事務局	<p>4月からたつのに住んでいるが、非常にいいところだと感じている。</p> <p>三田市では、前に「子育てするなら絶対三田」と打ち出していた。いろいろと施策があるが、5年間はこれをメインでいくのだというものを、ひとつかふたつぐらい絞った打ち出し方もあるのではないかな。</p> <p>企業の PR について、企業の外観や作業風景もいいが、社長の顔を見せて PR するのもいいのではないかな。</p>
委員	<p>学校給食費の補助事業があるが、どの程度のものを考えているのか。</p>
事務局	<p>今のところ 30 年度については、中学校給食費の保護者負担分の全額を補助する方向で検討している。</p> <p>近隣では、相生市が“子育て”を前面に打ち出して市長自ら PR しているが、本市も情報発信を積極的に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>ふるさとの愛着につなげる事業として、「学びのスペース創出事業」が上げられているが、自習スペースを設置することで、ふるさとの愛着につながるのか。</p>
事務局	<p>勉強する場所ということだけでなく、愛着は人とのつながりによっても生ま</p>

	れるので、何人かで一緒に勉強する中で地域への愛着につながっていくものと考えている。
委員	太子町の役場で同じような場所を設置しているが、人気があると聞く。
委員	ある場所では、庁舎が学生でいっぱいになっているが、高校生が来ているのは、受験勉強に来ているのであって、ふるさと意識に結び付くことはありえない。施策目標と実施事業がこの事業については、一致していないのではないかと。施策2の本社機能の移転企業数については、最終目標を1社としているが、中間検証においてD判定としている。最終的に1社とするならば途中経過は0社でいいので、D判定ではなく”判定なし”というのでいいのではないかと。判定をつくることによってかえって、形式的になりすぎていると思う。項目によって考え方も反映させて、判定した方がよいのではないかと。
委員	施策1 子育て支援の充実ですが、チャイルドシートやベビーカーなど子どもが大きくなったらいらなくなるのに買うと高額になるものがある。公的に貸し出すことで、子育ての支援となるのではないのでしょうか。
事務局	チャイルドシートについては、購入助成制度があります。ベビーカーについては、御意見を参考に検討していきたいと思います。環境課では、譲って欲しい人と譲りたい人とをつなぐ事業をしています。
委員	婦人会は、婚活と子育て支援事業を行っているので、応援をお願いしたい。
(3) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業の検証及び評価について	
委員長	特に意見はないようですが、国の認定を受けている事業なので、しっかりと進めていくようお願いしたい。
その他	
委員長	行政に対する厳しい意見が出たが、地方創生は行政だけに任せておくのではなく、一人ひとり、ひとつひとつの組織が、みんなと一緒に取り組んでいきたいと思うので、御協力をお願いします。